

## ✓ 地域おこし協力隊が着任しました

### ●旧今井染物屋でバテンレースの技術の継承と発信



6月28日、雪国高田の風土産業であるバテンレースの技術の継承と発信に取り組む「地域おこし協力隊」として、福岡県福岡市から香田真由子さんが着任し、村山市長から辞令交付を受けました。

香田さんはバテンレースをあしらったマスクを着用して式に臨み、「技術を習得して活動を広げ、若い人向けにも情報発信していきたい」と語りました。

村山市長は「体調に気をつけて、バテンレース技術の継承と発信のために頑張ってください」と激励しました。



### ●吉川区川谷地区で地域振興に取り組む

7月1日、吉川区川谷地区で中山間地の棚田を守り、地域の活性化に取り組む「地域おこし協力隊」として、東京都渋谷区から三輪芳和さんが着任し、村山市長から辞令交付を受けました。



三輪さんは「実家は兼業農家だったが、米作りはほぼ初めて。これまでのITの仕事の経験を販路開拓などにも生かせたら」と語りました。

村山市長は「上越の良さを楽しみながら、地元の人たちとともに活躍を期待しています」と激励しました。



## ごぜうた 替女唄演奏会 6/13(日)



### 地域の魅力ピックアップ



「高田替女」の歴史と文化を知ってもらう機会として、替女唄演奏者の月岡祐紀子さんによる替女唄が旧今井染物屋で披露されました。

コロナ禍では難しいかもしれませんが、郷土の伝統文化に触れる機会として、地元の学生など多くの若い世代にもぜひ聴いていただきたい演奏会でした。

(写真=市民カメラマン 風間史織さん)

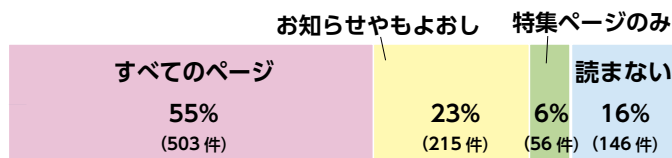
# 広報上越に皆さんの声を取り入れます！

広報上越の発行が月1回となり、4月で1年が経過したことから、今後の紙面づくりの参考とするため、市公式LINEアカウントおよび市ホームページで「広報上越」に関するアンケートを実施しました。

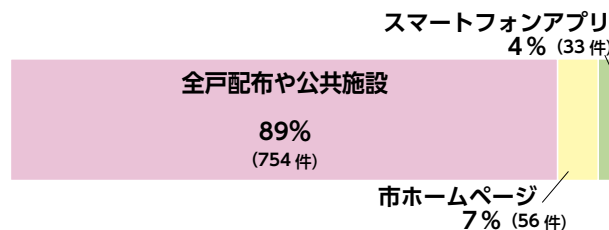
貴重なご意見は、今後、市民の皆さんにより求められる「広報上越」の作成に生かします。非常に多くの皆さまからご回答いただき、誠にありがとうございました。

## ✓ アンケート結果（主なもの）

Q1 広報上越をどの程度読んでいますか



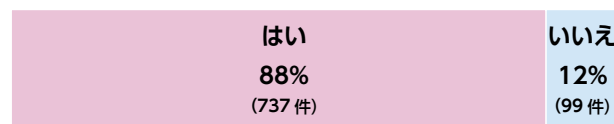
Q2 主な閲覧方法を教えてください



Q3 紙媒体の全戸配布は必要だと思いますか



Q4 紙面は見やすい、分かりやすいですか



## ✓ 取り上げてほしい特集やテーマ

順位	テーマ	皆さんの声
1位	個人・企業の紹介	「若者が頑張っている様子や地域の企業、団体を紹介してほしい」
2位	13区の地域紹介	「各区の行事や地域活性化の取り組みを知りたい」
3位	食に関すること	「上越の特産品のレシピや地元一押しの食べ物を教えてほしい」
4位	学校生活・保育園	「学校生活や行事の様子や地元高校生の活躍を見たい」
5位	スポーツ	「スポーツイベントや団体を紹介してほしい」

## ✓ 新連載スタート！！

「取り上げてほしいテーマ」として多くの要望があったものを参考に、「広報上越」だからこそ取り上げられる記事を掲載していきます。

本号から、地域の新たな担い手として意欲と情熱を持って活動する「地域おこし協力隊」の皆さん（右写真）の日常についてお伝えします。（28ページ）

この他のテーマについても企画中です。どうぞお楽しみに！



### 調査概要

- ▶実施日 4月6日から13日 ▶調査方法 市公式LINEアカウントおよび市ホームページ
- ▶回答数 920件 ▶エリア 上越市内（94%）、上越市外（6%）
- ▶年代 10・20代（10%）、30代（20%）、40代（28%）、50代（21%）、60代（16%）、70歳以上（5%）